

公開講演: 韓国伝統音楽に見る K-POP の要素

日時: 2018年10月29日(月) 10:40~12:10

会場: お茶の水女子大学 本館 306 教室 **聴講無料 (事前申し込み不要)**



講師プロフィール: 蔡美京

SAI Mikyung (舞踊研究者・舞踊講師)

お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了。

明治大学アジア太平洋パフォーマンス・アーツ研究所研究推進員、埼玉女子短期大学講師ほか。舞踊研究者・舞踊講師として活動中。

【講演】日本で韓流ブームが始まって以来、今日まで韓流ブームが続いています。韓国ドラマ、美容、ファッション、そして K-POP まで、その影響は、広がっています。特に、若者の世界では、K-POP は脚光を浴びています。新しい文化に接する機会が増えているこの時代、本講演を通して韓国伝統文化に触れ、伝統を見直すことの大切さを考えたいと思います。また、韓国の伝統文化にも K-POP の要素が見られるかどうか、検討してみたいと思います。本講演では、講演者の他に 3 名の著名な韓国伝統舞踊の継承者(舞踊家)をお迎えして、実演をしていただきます。(「友情出演」です！)

【ワークショップ】小太鼓のリズムに合わせて踊りましょう。
【上演作品(3 作品)解説】 (1)『立舞』(即興性のある素踊りを「立舞」と言います。リズムに合わせて興にのって踊る韓国伝統舞踊の基本舞。当日は、李梅芳流で行います。) (2)『ソゴ・チュム』(農楽の一つ。ソゴという小太鼓を叩きながら踊ります。) (3)『太平舞』(国王と王妃が国の平和と太平を祈る舞。1900 年代の舞踊家、韓成俊氏により京畿道堂クツに使われる巫舞を元に再構成されました。韓成俊氏の系譜を引き継ぐ韓英淑流太平舞は、独特で繊細な足さばきと呼吸、多様な動作が特徴です。)



【舞踊上演者プロフィール】

(左) 南富用: 韓国学校 韓国舞踊講師。読売カルチャー川崎、韓国舞踊講師。

(中央) 辛錦玉: 辛錦玉韓国舞踊研究会「花仁会」主宰。2010 年全州大私習り 第 1 回日本大会に文化賞受賞。

(右) 裴祇演: 韓国重要無形文化財「サルブリ・チュム」履修者(名取)。埼玉教育院講師。韓国学校韓国舞踊講師。ベジヨン韓国舞踊研究所主宰

* LA 科目「舞踊における色・音・香」の履修者は、本講演に出席し、レポートを提出することにより授業の出席として認められます。

問い合わせ先: お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース

准教授 [中村美奈子 nakamura.minako@ocha.ac.jp](mailto:nakamura.minako@ocha.ac.jp)

今後の予定:

次回: 2018 年 11 月 26 日(月) 山中 ひとみ: お茶の水女子大学哲学科卒。「(仮題)カンボジア舞踊における色・音・香」

最終回: 2019 年 1 月 22 日(火) 銚久 奈緒美: お茶の水女子大学舞踊教育学コース卒。「(仮題)大駝駝艦の舞踏」